

日本製紙グループ主要会社と生産拠点 (2014年3月末現在)

紙・パルプ事業

- 日本製紙(株)
 - ① 釧路工場
 - ② 北海道工場旭川事業所
 - ③ 北海道工場勇払事業所
 - ④ 北海道工場白老事業所
 - ⑤ 秋田工場
 - ⑥ 石巻工場
 - ⑦ 岩沼工場
 - ⑧ 勿来工場
 - ⑨ 足利工場
 - ⑩ 草加工場
 - ⑪ 吉永工場
 - ⑫ 富士工場
 - ⑬ 大竹工場
 - ⑭ 岩国工場
 - ⑮ 八代工場
- ◆ 日本製紙クレシア(株)
 - ⑯ 東京工場
 - ⑰ 開成工場
 - ⑱ 京都工場
 - ⑲ 興陽工場
- 日本製紙パピリア(株)
 - ⑳ 原田工場
 - ㉑ 吹田工場
 - ㉒ 高知工場
- ▲ 北上製紙(株)
 - ㉓ 一関工場
- 日本製紙USA
 - ㉔ ポートアンジェルス工場
- オーストラリアン・ペーパー
 - ㉕ メアリーベール工場
 - ㉖ ショールヘイブン工場
- 十條サーマル
 - ㉗ カウツア工場

紙関連事業

- 日本製紙(株) (紙パック事業本部)
 - ① 草加紙パック(株)
 - ② 江川紙パック(株)
 - ③ 三木紙パック(株)
 - ④ 石岡加工(株)
 - ⑤ 勿来フィルム(株)
- ◆ 日本製紙(株) (ケミカル事業本部)
 - ⑥ 江津事業所
 - ⑦ 岩国事業所
 - ⑧ 東松山事業所
 - ⑨ 勇払製造所
- 日本製袋(株)
 - ⑩ 旭川工場
 - ⑪ 前橋工場
 - ⑫ 埼玉工場
 - ⑬ 新潟工場
 - ⑭ 京都工場
 - ⑮ 九州工場
- ▲ 秋田十條化成(株)
 - ⑯ 本社工場

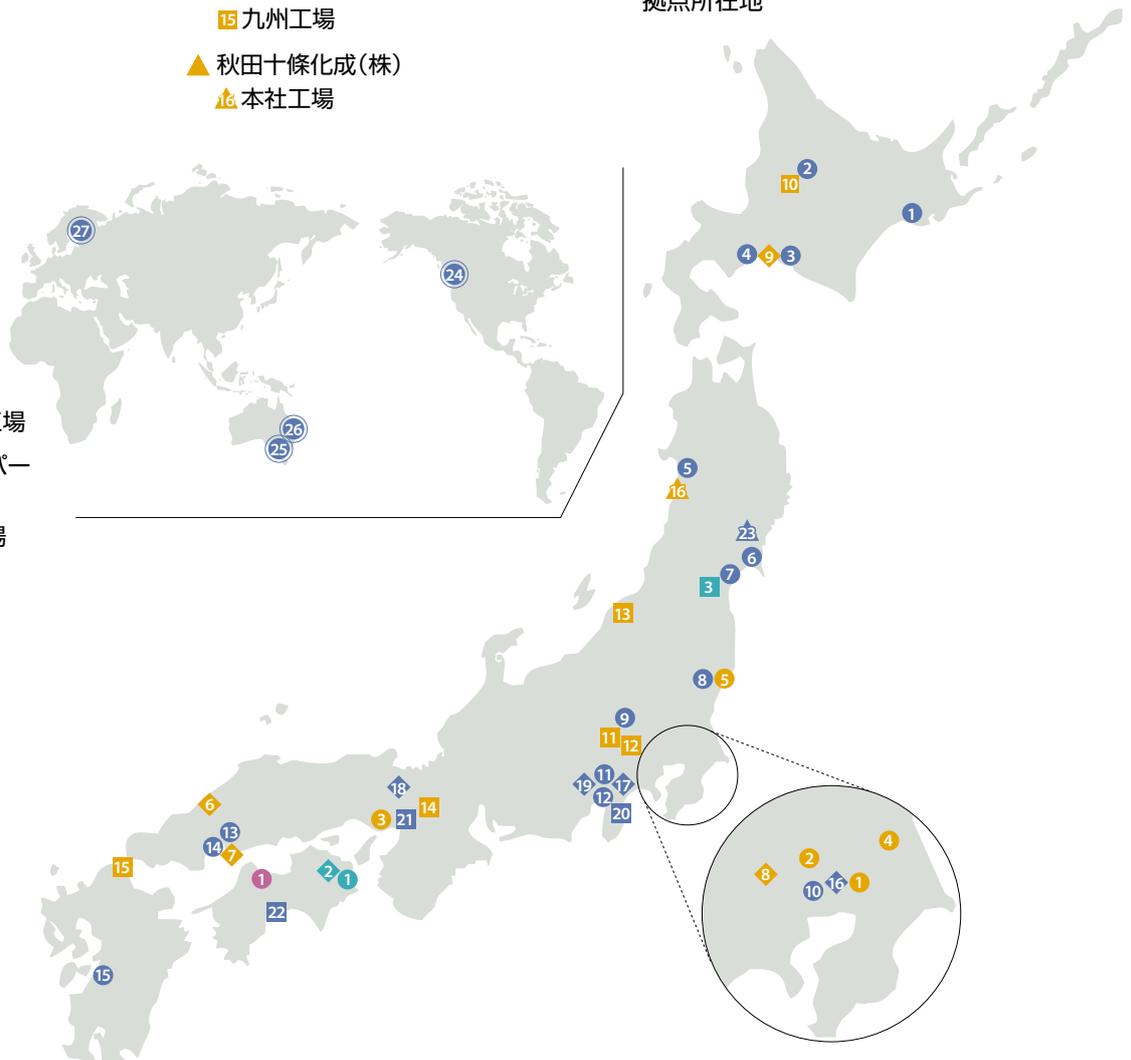
木材・建材・土木建設関連事業

- (株)パルウッドマテリアル
 - ① パルテック(株)
- ◆ 日本製紙木材(株)
 - ② エヌ・アンド・イー(株)
- 大昭和ユニボード(株)
 - ③ 宮城工場

その他の事業

- 四国コカ・コーラボトリング(株)
 - ① 小松工場

拠点所在地



編集方針

日本製紙グループでは、CSR(企業の社会的責任)に関わる取り組みについて広くステークホルダーの皆さまに報告するためにCSR報告書を発行しています。なお、これまでCSR報告書は詳細版とハイライト版の2冊構成で発行していましたが、今回から1冊にまとめ、網羅性を確保しつつ重要度の高い取り組みを明示した構成としています。

報告の対象期間

2013年4月1日～2014年3月31日

一部に2013年4月1日より前、または2014年4月以降の情報を含めています。対象箇所では日付を明記しています。

報告の対象組織

本報告書は日本製紙(株)を報告主体としています。ただし、取扱データは2014年3月末時点の日本製紙(株)および全連結子会社44社を報告対象として算出しています。

環境関連について:

環境関連の基本方針、体制、環境会計、環境パフォーマンスデータなどについては、主要生産拠点を含む以下の21社を報告対象としています。この中には、生産拠点を有する非連結子会社(6社)も含んでいます。

(連結) : 日本製紙(株)、日本製紙クレシア(株)、日本製紙パピリア(株)、オーストラリアンペーパー、日本紙通商(株)、北上製紙(株)、日本製紙USA、日本製袋(株)、日本製紙木材(株)、(株)パル、エヌ・アンド・イー(株)、大昭和ユニボード(株)、四国コカ・コーラボトリング(株)、日本製紙総合開発(株)、(株)ジーエーシー

【連結売上高構成比 94%】

(非連結) : 草加紙パック(株)、江川紙パック(株)、三木紙パック(株)、石岡加工(株)、勿来フィルム(株)、秋田十條化成(株)

参考にしたガイドラインなど

- 環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)
- Global Reporting Initiative(GRI)
「サステナビリティ・レポート・ガイドライン」(第3.1版)
- 「国連グローバル・コンパクト」
- ISO26000 ほか

免責事項

本報告書には、日本製紙グループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、以上をご了解いただきますようお願い申し上げます。

CSR報告書 2014

目次

日本製紙グループ主要会社と生産拠点	2
編集方針	3
トップメッセージ	4

特集

● 総合バイオマス企業としての持続可能なビジネスモデル	6
● 日本製紙グループの事業概要	8
● 総合バイオマス企業としての事業戦略	10
● 日本製紙グループの価値創出フローと社会的課題	12
● 日本製紙グループのCSRにおける重要課題(マテリアリティ)	14

■ 経営に関わる責任	15
■ 森林経営・原材料調達に関わる責任	21
■ 環境に関わる責任	29
■ お客さまに関わる責任	51
■ 人権と雇用・労働に関わる責任	57
■ 地域・社会への責任	67

報告組織のプロフィール	72
-------------	----

GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン」との対照表	74
--------------------------------	----

環境省「環境報告ガイドライン」 「国連グローバル・コンパクト」との対照表	76
---	----

第三者意見	77
-------	----

第三者意見を受けて	77
-----------	----